

災害に強い 神奈川へ

宙瞰図「宇宙から見た神奈川2015」(県立生命の星・地球博物館作成)を加工

今回の能登半島地震では、家屋の倒壊によって大勢の方が犠牲になりましたが、倒壊家屋は旧耐震基準で建てられた住宅が多かったことが指摘されています。

神奈川県内の住宅全体の耐震化率は94%(2020年度)ですが、一戸建て住宅の耐震化率は89%にとどまっています。県では、市町村と連携し、耐震診断や耐震改修について支援を行っていますので、ぜひご検討ください。

また、半島特有の地形から、道路の寸断によって孤立地域が多く発生し、電気や水道、通信といったライフラインの断絶も長期化しました。

本県も半島地域を有していますので、引き続き、道路の土砂崩落対策や橋の耐震補強など、緊急輸送体制の確保に積極的に取り組んでいきます。

こうした取り組みに加え、今回の地震で得た教訓を本県の地震対策の強化に直ちにつなげるため、「災害時トイレプロジェクト」をさらに推進し、携帯トイレの備蓄を増強するほか、断水に備えた水循環式シャワーや、災害時の通信環境を守るための衛星通信システムの整備などを行いたいと思います。

そして、身の回りで起こり得るさまざまな場面を「県民目線」で想定し、地震被害想定調査の見直しを行い、「地震防災戦略」に反映していきます。

今後とも、能登半島の復旧・復興に全面的に協力するとともに、「災害に強いかながわ」を目指してまいります。

神奈川県知事 黒岩祐治



令和6年能登半島地震に対する支援とそこから得た教訓

市町村と連携した被災地支援の取り組み

県は、地震発生の直後から、災害対策支援チームを設置し、市町村や関係機関と連携しながら、被災地への災害対策支援を行ってきました。引き続き被災地のニーズに沿った支援を継続的にまいります。

【総計 延べ2,520人】(うち県職員201人) 令和6年2月13日現在

被災者の「いのち」を守るために

災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣

県内医療機関から派遣し、被災地域における医療情報収集、患者等の医療搬送、病院支援などを行っています。

【延べ142人】

緊急消防援助隊神奈川県大隊を派遣

県内全消防本部により編成された部隊が、安否不明者の捜索や傷病者の救急搬送などを行いました。

【延べ1,924人】

保健師チームを派遣

県内の市町村と連携して保健師、管理栄養士等を派遣し、自宅避難者への家庭訪問による健康相談や、避難所における感染症対策、エコミークラス症候群対策などを行っています。

【延べ125人】

支援物資を確かかつ迅速に届けるために

応援職員を派遣

必要な各種調整や、夜間照明の設置など避難所の仮設トイレを利用しやすくしたり、被災者の給水の支援等に当たっています。

【延べ164人】

復旧に向けて

職員(建築職)による震災建築物応急危険度判定

被災した建築物について、余震による建築物の倒壊や部材の落下等の危険性の判定を行いました。

【延べ10人】

※上記は主な取り組みを抜粋しているため、各取り組みの合計は総計と一致しません



石川県からの要請により、県、市町、自衛隊、医療機関等が個別に収集管理していた被災地に点在する避難所や被災状況の情報を、一元管理できる仕組みの導入支援などを行ってきました。災害への対応で最も重要なものの一つが情報です。正しい情報を県や市町村、関係団体が把握することが、その後の迅速な救援・支援の実施につながります。そこで、今回の震災対応の経験を踏まえ、衛星通信システムの整備や、電源にも使えるPHV車の導入、県と市町村間の情報連携基盤強化など必要な取り組みについて提案しました。

神奈川県CIO(情報統括責任者)兼CDO(データ統括責任者) 江口 清貴氏

支援の取り組みについて詳しくはこちら



今回これほどの被害が出たのも、建物の脆弱性が原因と思われます。お金はかかるけれども自宅の耐震化と向き合い、自分の住む地域に同じ規模の地震が起きたらわが家は大丈夫だろうかと考えてほしいです。なぜなら、今回の地震では役場や消防に助けと電話してつながったとしても津波警報が解除されるまで消防も警察も現場に入らず、救出救助活動ができなかったという事実があったからです。命を守るためには自宅の耐震性が重要です。まずは、耐震診断や耐震工事の助成制度を自治体のホームページで調べてみましょう。命を守ることができるのは自分自身なのです。

神奈川県防災アドバイザー 國崎 信江氏

【上記記事に関する問合せ】

DMATについては県医療危機対策本部室 ☎045(210)4634 FAX045(633)3770/緊急消防援助隊については県消防保安課 ☎045(210)3436 FAX045(210)8829/保健師チームについては県健康増進課 ☎045(210)4784 FAX045(210)8857/応援職員派遣については県危機管理防災課 ☎045(210)3430 FAX045(210)8829/応急危険度判定、マイホームの耐震化全般については県建築安全課 ☎045(210)6257 FAX045(210)8884/地震防災チェックシートについては県危機管理防災課 ☎045(210)5945 FAX045(210)8829/マイホームの耐震化に関する市町村への補助については県消防保安課 ☎045(210)3444 FAX045(210)8829

もう一度見直そう! 地震への備え

地震による被害を最小限にとどめるためには、事前の備えが重要です。いざという時に慌てず適切な行動ができるように、必要な情報はあらかじめ確認しましょう。

地震防災チェックシートで確認しましょう

詳しくはこちら



マイホームを耐震化しましょう

自分の家が安全かどうかを知るため、積極的に専門家の耐震診断を受けましょう。特に、昭和56年以前に建てられた旧耐震基準適用の住宅は確認が重要です。必要があれば早めに改修しましょう。耐震診断や耐震改修工事にお住まいの自治体の補助制度を活用できる場合があります。補助制度の詳細はお住まいの市町村担当課にお問合せください。



あなたや家族の避難先を調べておきましょう

非常持出品を確認、準備しましょう

まず持ち出すのは男性15kg 女性10kg程度が目安。携帯トイレの備蓄も忘れずに。



最低3日分、できれば1週間分の水・食料・日用品をローリングストック法なども活用し、備蓄しましょう



職場や外出先等での地震に備えましょう

長時間にわたって交通機関が動かなくなり、帰宅困難になる可能性があります。外出時に被災した場合の連絡方法等について家族で確認しておきましょう。

新かながわランドデザインの実現に向けて 令和6年度 当初予算案

デジタルの力の活用を進め、県民目線に立った行政運営を目指すとともに、人口減少社会における子ども・子育てへの支援に加え、2050年脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるなど、新かながわランドデザインに掲げる施策を着実に推進していきます。

子ども・子育てへの支援 1,806億9,596万円

- 市町村と連携した不妊治療費(先進医療分)の助成支援
- 私立高等学校等生徒への学費補助の拡充(多子世帯の授業料実質無償化の年収上限拡大と年齢要件緩和) など

県民目線のデジタル行政で やさしい社会の実現 234億9,271万円

- かながわ子育てパーソナルサポートの機能強化
- デジタル技術(3次元点群データ)を活用した道路・河川台帳等の電子化 など

※上記は主な取り組みと金額を記載しています



共生社会実現への取り組み 900億609万円

- 当事者目線に立った障がい福祉の実現(グループホームや訪問系サービスの体験利用などによる障がい者の地域生活移行の取り組み、重度訪問介護における市町村への支援) など

2050年脱炭素社会の実現に向けた取り組み 153億9,990万円

- 中小企業のCO₂排出量管理システムや省エネ設備の導入支援
- 県有施設の照明のLED化や太陽光発電の導入 など

予算案の内容について詳しくは

神奈川県 予算

検索

一般会計 2兆1,045億円

一般会計 2兆1,045億円 (前年度比92.2%)

特別会計(15会計) 2兆2,469億円 (前年度比99.6%)

企業会計(6会計) 1,603億円 (前年度比97.8%)

総計 4兆5,117億円 (前年度比95.9%)

「災害に強いかながわ」に向けた取り組み 1,449億8,075万円

- 緊急輸送体制の確保(道路整備や橋りょうの耐震化等)
- 能登半島地震を踏まえた緊急災害対策(衛星通信システムや水循環式シャワー、携帯トイレなどの県の備蓄強化、孤立化対策等を行う市町村への支援) など



衛星通信システムアンテナ (写真提供: KDDI(株))



能登半島避難所での衛星通信システム設置の様子 (写真提供: KDDI(株))

これまでの事業の成果についてご報告します

中小企業の新たなチャレンジを支援しました!

新型コロナウイルス感染症や物価高騰等による厳しい事業環境を乗り越えるため、中小企業が既存事業から新たなビジネスモデルに挑戦するための費用を支援しました。

令和2年度から令和4年度 補助前後で事業者の売上高が 平均11%以上、約380億円の増加 ⇒「稼ぐ力」の回復に貢献

【上記記事に関する問合せ】 県財政課 ☎045(210)2266 FAX045(210)8805

Information

※記載のほかに、入場料・保険料・テキスト代等が必要な場合もあります ※記事は2月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

必要事項凡例			
〒 = 郵便番号	住 = 住所	姓 = 氏名	
年 = 年齢	性 = 性別	☎ = 電話番号	
申込みは e-kanagawa 電子申請 をご利用ください			

試験・募集

県職員募集(早期試験)

- 職種：1種【建設技術(土木)30人、電気6人】
- 免許資格職(福祉職)30人
- 1次試験日：4月7日(日)
- 受付期間：3月1～15日17時受信
- ※受験資格等詳しくはHPか問合せ
- 受験案内：HPに掲載
- 📍**県人事委員会事務局総務課** ☎045(651)3245



県非常勤職員募集(医療的ケア看護師)

- 募集人数：6人
- 勤務地：県立特別支援学校
- 受験資格：看護師免許取得者で、3年以上の実務経験を有する方
- ※外国籍の方も可、申込方法等詳しくはHPか問合せ
- 📍**県特別支援教育課** ☎045(210)8276



県警察任期付職員募集

- 職務内容：警察職員の福利厚生事務、遺失物・拾得物の取り扱い、文書作成、データ入力等
- 選考日：4月下旬～6月下旬
- 受付期間：3月1日～4月19日
- 募集案内：HPに掲載
- 📍**県警察採用センター** ☎045(211)1212内線2664

警察官募集

- 試験区分：警察官A(男性160人、女性40人)平成元年4月2日以降に生まれた方で、大学卒業か令和7年3月までに卒業見込みの方
- 警察官B(男性85人、女性35人)平成元年4月2日～平成18年4月1日に生まれた方(上記区分Aに該当する方を除く)
- 術科A(柔道3人、剣道4人)
- 1次試験日：5月12日(日)
- 受付期間：3月1日～4月15日17時受信
- 募集案内：HPに掲載
- 📍**県警察採用センター** ☎(0120)034145

県男女共同参画審議会委員募集

- 内容：県の男女共同参画施策について審議を行う
- 対象：県内在住・在勤・在学の方(日本語のできる外国籍の方を含む)1人
- 任期：6月1日から2年間
- 応募期限：3月15日(必着)
- ※応募方法等詳しくはHPか問合せ
- 📍**県共生推進本部室** ☎045(210)3640

あーすフェスタ企画委員募集

- 内容：11月下旬～12月上旬に開催予定の「あーすフェスタかながわ2024」の企画・運営ボランティア
- 対象：令和6年4月1日現在16歳以上の外国籍の方または多文化共生に興味のある方
- ※申込方法等詳しくはHPか問合せ
- 📍**県国際課** ☎045(285)0761

統計調査にご協力ください

調査結果は、暮らしをより良くする
さまざまな取り組みに生かされています。

🏠 **家計が見える**

家計調査

家庭のお金がどのように使われているか明らかにします

👤 **雇用が見える**

労働力調査

人が働いている状況、失業の状況などを明らかにします

🛒 **物価が見える**

小売物価統計調査

モノやサービスの価格の変化などを明らかにします

調査員証を携帯した統計調査員がお伺いしましたら、ご回答をお願いします。

家計調査と労働力調査は、オンラインでもご回答いただけます。

📍 **県統計センター** 家計調査は☎045(313)7216 労働力調査は☎045(313)7213・7215
小売物価統計調査は☎045(313)7217

文化芸術活動への補助金

- ①文化芸術活動団体事業補助金②マグル展開促進補助金
- 県内で広く県民を対象に行われる公演・展示・ワークショップ等の文化芸術活動の経費の一部を公募により補助します。
- 募集要項：HPに掲載
- 応募期限：3月15日
- 📍**県文化課** ①は☎045(210)3808②は☎045(285)0220

お知らせ

地価公示価格の閲覧

地価公示価格(令和6年1月1日現在)は、HPや県政情報センター、各地域県政情報コーナーで3月下旬から閲覧できます。

📍**県土地水資源対策課** ☎045(210)3111

自動車の移転・住所変更登録

自動車税種別割は4月1日現在の所有者に課税されます。自動車の売買、譲渡、廃車、住所等の変更をされた方やこれから予定されている方は、管轄の運輸支局または自動車検査登録事務所で登録手続きを忘れずに行ってください。また、住所変更の登録手続きがすぐに行けない場合、HP「県税便利帳」から自動車税種別割納税通知書の送付先変更手続きをお願いします。

📍**自動車登録手続きヘルプデスク(自動音声案内)**
 神奈川運輸支局 ☎050(5540)2035
 川崎自動車検査登録事務所 ☎050(5540)2036
 相模自動車検査登録事務所 ☎050(5540)2037
 湘南自動車検査登録事務所 ☎050(5540)2038

○自動車税種別割については**自動車税コールセンター** ☎045(973)7110

不正軽油の情報をお寄せください

県と県警察および関係団体で構成する県不正軽油対策協議会は、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして脱税を目的に製造された不正軽油を撲滅するため、県民の皆さんからの情報を広く収集しています。「著しく安い軽油の売り込みがあった」「給油後、エンジンの調子が悪くなった」「排気ガスの色が黒っぽい」などの情報は、**不正軽油ホットライン** ☎045(210)2380へご連絡ください。

📍**県税務指導課** ☎045(210)2324

住宅地等での農薬使用にご注意を

住宅地等で農薬を使用するときは次のことを守りましょう

- 周辺住民へ事前に農薬の使用目的や散布日時などを周知する
- 風が弱い日や時間帯を選ぶなど近隣への飛散防止に努める
- 公園など一般の方が立ち入る場所では、立て看板の表示等の措置をとる

📍**県農業振興課** ☎045(210)4425

障害者の法定雇用率が引き上げられます

4月から、民間企業における障害者の法定雇用率が現行の2.3%から2.5%に引き上げられます。加えて、障害者雇用における障害者の算定方法の変更、助成金の新設や拡充など、事業主に対する支援策が強化されます。

※詳しくは厚生労働省HPか問合せ

📍**県雇用労政課** ☎045(210)5871

戦争体験を次世代へ語り継ぐ

戦没者遺族や原爆被爆者、中国帰国者(残留婦人、残留孤児)の方を、戦争体験や平和への祈りの「語り部」として派遣します。

- 対象：学校やPTA、地域の子ども会、町内会等
- ※申込方法等詳しくはHPか問合せ
- 📍**県生活援護課** ☎045(210)4903

県戦没者追悼式

- 日程：5月10日(金)14時～15時30分
- 場所：神奈川県民ホール
- 対象：県内在住で①市在住遺族の方②町村在住遺族の方③遺族以外の方
- 申込み：電話で3月19日までに①は**市・区役所の援護担当課**②は**県の各保健福祉事務所**③は**県生活援護課** ☎045(210)4917へ

戦没者名簿への新規記名

戦没者・戦災死者のお名前を戦没者名簿に記名し、県戦没者慰霊堂に納めます。

- 対象：県内に本籍があるか、遺族が県内に在住している戦没者・戦災死者
- 申込み：電話で3月19日までに**県生活援護課** ☎045(210)4917へ

「県のとより」点字版・録音版

目の不自由な方のために、「県のとより」の点字版と録音版を作成しています。録音版にはカセットテープ版とCD(デジジー)版があります。身体障害者手帳をお持ちの方に、ご希望によりいずれかをお送りします。

- 申込み：電話で**県知事室** ☎045(210)3662へ



出会いと別れの季節。春がやってきたワン🐾

お引越しなどで、住む場所や連絡先が変わったら、マイクロチップを装着しているワンちゃんやネコちゃんは、飼い主さんが登録情報を変更する必要があるよ。

マイクロチップを装着すれば、僕たちペットが迷子になっても、すぐにおうちがわかって飼い主さんのもとに帰ってこられるから、登録情報が変わったらすぐに手続きするようにお願いするワン🐾

マイクロチップについて詳しくはこちら▶

手続きを
お願いするワン

動物愛護の取り組みに寄付をお願いします

保護された犬猫等の治療や訓練の他、譲渡につなげるための事業、多頭飼育の犬猫の適正な飼養を推進するための事業に寄付をお願いします。

かながわペットのいのち基金 検索

We Live
They Live
Our Kanagawa

みんなのハッピーは、ぼくのハッピー。

📍**県生活衛生課** ☎045(210)4947

世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間

毎年4月2日は国連が定める世界自閉症啓発デー、また4月2～8日は発達障害啓発週間です。自閉症や発達障がいへの理解を深めていただくため、県庁本庁舎をブルーにライトアップします。

- 日程：4月2～8日18時30分～20時30分
- 📍**県障害福祉課** ☎045(285)0528

県技術職員の仕事の魅力紹介

県技術職員(土木職・建築職)として働くことに興味がある学生等を対象に、業務内容や魅力を紹介すると

●対象：保護者等の「市町村民税の課税標準額×6%—市町村民税の調整控除の額(政令指定都市の場合は調整控除の額に4分の3を乗じて計算)」が30万4200円未満(年収約910万円未満)の世帯の生徒

●申込み：在学中または入学する高等学校等へ

📍**県教育局財務課** ☎045(210)8113

○**(私立)県私学振興課** ☎045(210)3793

※4月以降も実施予定。詳しくはHPか問合せ

浄化槽法定検査を受検しましょう

浄化槽を使用する場合は、浄化槽法により「法定検査」を受検することが義務付けられています。「法定検査」には「設置後等の水質検査」とその後毎年1回の「定期検査」があります。浄化槽をお使いの方は、知事指定の検査機関による法定検査を受検しましょう。

📍**県生活衛生課** ☎045(210)4950

貯水槽の掃除・点検をしましょう

法令により、ビルやマンション等の貯水槽は毎年掃除を行うこと、貯水槽水道の設置等をした場合には保健福祉事務所等への届け出が義務付けられています。また、各自治体の条例で定められた有効容量を超える貯水槽等は、毎年必ず検査機関による管理に係る検査を受検しましょう。

📍市区域は**保健所等**か**市役所**、町村区域は**県の各保健福祉事務所**(寒川町は**茅ヶ崎市保健所**)か**県生活衛生課** ☎045(210)4955

高等学校等就学支援金

高等学校等に在学する生徒に対し、授業料に充てるための返還不要の支援金を支給します(申請が必要)。

- 対象：保護者等の「市町村民税の課税標準額×6%—市町村民税の調整控除の額(政令指定都市の場合は調整控除の額に4分の3を乗じて計算)」が30万4200円未満(年収約910万円未満)の世帯の生徒
- 申込み：在学中または入学する高等学校等へ
- 📍**(公立)県教育局財務課** ☎045(210)8113
- (私立)県私学振興課** ☎045(210)3793

観光かながわNOWをご活用ください

県の観光サイト「観光かながわNOW」を全面リニューアルしました。最新のイベント情報や各地のグルメ、旬のおすめスポット・体験など、県内の観光情報を発信しています。

※詳しくはHPか問合せ

📍**県観光課** ☎045(210)5767



設備導入を応援します

- 対象:従業員数50人以下の企業者、創業者等
 - 内容:創業や経営の革新に必要な新品設備の貸与(割賦年利0.7~2.3%、月額リース料率0.941~2.975%)
 - 貸与期間:10年以内で原則として耐用年数の期間以内
 - 限度額:1億円 ※詳しくは☎か問合せ
- ☎(公財)神奈川県産業振興センター ☎045(633)5066か県金融課 ☎045(210)5681

中小企業制度融資

小規模クイック融資

- 対象:従業員数30人(卸売業・小売業・サービス業は10人)以下の中小企業者等
 - 資金使途:運転・設備・借換
 - 融資限度額:4000万円
 - 期間・利率(固定):1年以内・金融機関所定金利
 - 1年超5年以内・年1.8%以内
 - 5年超7年以内・年2.0%以内
 - 7年超10年以内・年2.3%以内(全期間で金融機関所定の変動金利も可)
 - 県信用保証協会保証料率:0.45~1.52%(企業経営の未病改善に取り組む場合はさらに割引あり) ※詳しくは☎か問合せ
 - 申込み:県制度融資取扱金融機関へ
- ☎県金融課 ☎045(210)5695

催し

神奈川フィル For Future巡回公演

- 横須賀公演
- 日程:3月23日(土)14時開演
 - 場所:横須賀芸術劇場
 - 指揮:横山奏
 - 曲目:團伊玖磨「交響曲第4番(1965 神奈川)」ほか
 - 料金:5000~3000円
 - 未就学児入場不可
 - 申込み:電話か☎で神奈川フィル・チケットサービス ☎045(226)5107 へ



©平銀平

産前産後ケアシンポジウムかながわ

当事者目線の産後ケアを考える

- 日程:3月24日(日)13時30分~16時
 - 場所:横浜情報文化センター(横浜市中区)
 - 内容:慶応義塾大学名誉教授・吉村泰典氏、同大学教授・満倉靖恵氏による講演、パネルディスカッション
 - 定員:200人 ●申込期限:3月19日17時
 - ※申込方法等詳しくは☎か問合せ
- ☎県健康増進課 ☎045(210)4786

津久井湖さくらまつり(水の苑地)

- 日程:3月30日(土)10~16時(雨天時は31日(日)10~15時に延期)
 - 場所:県立津久井湖城山公園(水の苑地)
 - 内容:ステージイベント、地域特産品の販売等
- ☎同実行委員会事務局 ☎042(783)8117か県土地水資源対策課 ☎045(210)3124



かながわシルクフェア

- 日程:3月12~19日11~17時
 - 場所:シルクセンター(横浜市中区)
 - 内容:シルク製品の販売、スカーフアレンジ教室等 ※一部申込みが必要、詳しくは☎か問合せ
- ☎横浜繊維振興会 ☎080(1273)7804か県観光課 ☎045(285)0689

デフリンピック・フェスティバル

- 日程:3月20日(水・祝)13~16時 新都市プラザ(そごう横浜店地下2階正面入り口前)
 - 内容:デフリンピアンによるトークショー、デフスポーツ競技紹介等
 - ※申込不要、詳しくは☎か問合せ
- ☎県スポーツ課 ☎045(285)0798 ☎045(662)5557

施設情報

☎は3月1日~4月15日までの休館日等を記載しています。ご利用の際は、各施設等の最新情報をご確認ください。

県立図書館・県立川崎図書館

資料総点検のため休館します

- 県立図書館・県立川崎図書館は、資料総点検のため4月1~8日まで休館します。これに伴い、予約資料の用意に時間がかかることがありますのでご了承ください。 ※詳しくは問合せ
- 県立図書館企画展示「こんな本、見たことある?」
- 期間:5月8日まで
 - 内容:竹や漆、番傘、青貝などの素材を使った本など、同館が所蔵する装丁に特徴のある本の展示



表紙にアワビや夜光貝がすき込まれた「俳諧深川集」

- ☎県立図書館 ☎045(263)5900
- 県立川崎図書館 ☎044(299)7825
 - ☎県立図書館:月曜、3月14日、4月1~8:11日
 - 県立川崎図書館:日曜、3月14日、4月1~8日



かながわマグカル演劇「マゲフェス'24」フェスティバル2024

さまざまな舞台芸術をお楽しみいただけるマゲフェス'24を3月31日まで開催しています。ぜひお越しください!



かながわパフォーミングアーツアワード2024 ファイナル

全国から集った劇団と県内の高校生が、演劇・ダンス等の身体性を伴う舞台芸術作品を上演します。



昨年の受賞団体

- 日程:3月16日(土)・17日(日)11時開演
 - 場所:KAAT神奈川芸術劇場
 - 料金:1000円(高校生以下500円)
 - ※詳しくはこちら▼
- ☎かながわパフォーミングアーツアワード2024事務局 (tvkコミュニケーションズ内) ☎045(663)9939



紅葉坂舞台塾成果発表公演

ダンスカンパニー「CHAIROI PLIN」のレッスンを受けた塾生による成果発表公演を開催します。

- 日程:3月23日(土)・24日(日)13時開演・17時開演
- 場所:県立青少年センター「スタジオHIKARI」
- 料金:500円
- ※詳しくはこちら▼



CHAIROI PLIN スズキ拓朗氏



あーすぶらざ

ねごまつり

- 期間:3月9日~4月7日
 - 内容:カナガワビエンナーレ国際児童画展の過去入賞作品から「ねご」をテーマにした絵画の展示
- ☎045(896)2121
- ☎月曜



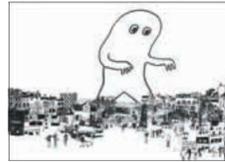
©神奈川県

県立近代美術館

- 葉山館 ☎046(875)2800
- 企画展「芥川龍之介と美の世界」
 - コレクション展「木茂(もくも)先生と負翼童子」
 - 期間:4月7日まで
- 鎌倉別館 ☎0467(22)5000
- 企画展「小金沢健人×佐野繁次郎 ドローイング/シネマ」
 - 期間:2月23日~5月6日
 - ☎月曜

鎌倉別館企画展より

小金沢健人《ドローイング/シネマ(佐野繁次郎の素描に基づく変奏)》2023年作家蔵



県立歴史博物館

特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」

- 期間:3月16日~4月14日
- ☎045(201)0926
- ☎月曜、3月12-21日

県立生命の星・地球博物館

- ①企画展「動物のくらしとかたち 数内正幸が描いた生態画の世界」
 - 期間:2月23日~5月12日
- ②講座「植物図鑑の使い方~春の花編」
 - 日程:4月13日(土)10時~12時30分
 - 内容:身近な花の名前調べを通じて、植物図鑑の使い方を学ぶ
 - 定員:小学4年生以上25人 ※小学生は保護者同伴、雨天中止
 - 申込み:②は☎か往復はがきで代表者の☎(☎)と参加者全員の☎(☎)を、講座名(日程)を明記し、4月2日(必着)までに同館企画普及課〒250-0031小田原市入生田499 ☎0465(21)1515 へ
 - ☎月曜、3月12~14・21日、4月9日



数内正幸美術館所蔵

講座

未病女子オンラインセミナー

伝えたい“未病”のための女性医学

- 日程:3月1日~4月30日 YouTube配信
- 内容:産婦人科医・粒来拓氏による女性の健康(月経関連の不調とその対処法等)に関する講演
- 申込み:☎で3月1~31日に県健康増進課 ☎045(210)4746 へ
- ※詳しくは☎か問合せ

消費生活出前講座

- 皆さんの集まりの場に講師を無料で派遣し、消費生活に関する情報や消費者被害にあわないポイントなどを分かりやすくお話しします。
- 対象:10人以上の団体・グループ等
 - ※申込方法等詳しくは☎か問合せ
- ☎県消費生活課 ☎045(312)1121内線2640、2642

県立がんセンター公開講座

女性のがん~最新の話

- 日程:4月18日(木)13時30分~16時
- 場所:関内ホール(横浜市中区)
- 定員:240人
- 申込み:☎かはがきで☎(☎)とメールアドレス、参加人数、講座名を明記し、3月1日~4月11日(必着)に同センター臨床研究所〒241-8515(所在地省略可) ☎045(520)2222内線4034 へ

古文書講座入門編

- 日程:①5月19日~6月2日②6月16~30日 いずれも日曜全3回(13時30分~16時)、内容は同じ
- 場所:県立公文書館
- 定員:各100人
- 費用:3000円
- 申込み:☎か往復はがき(1人1枚)で☎(☎)と講座名(希望日程)を明記し、3月15日~4月16日(必着)に同館資料課〒241-0815横浜市区区中尾1-6-1 ☎045(364)4461 へ



相談

性犯罪・性暴力被害に関する相談

- かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」では、性犯罪・性暴力の被害にあわれた方やそのご家族などからの相談に、相談員が24時間・365日、秘密厳守でお応えしています(性別・年齢を問いません)。
- 相談電話:☎#8891(全国共通番号・通話料無料)か☎045(322)7379
 - 男性・LGBTs被害者のための専門相談ダイヤル
- 性被害にあわれた男性やLGBTsの方からの相談に、専門相談員が秘密厳守でお応えしています。
- 相談日時:火曜(祝・休日を除く)16~20時
 - 相談電話:☎045(548)5666
 - ※いずれも匿名で相談できます

かながわひとり親家庭相談LINE

- 仕事、お金、子育て、くらしの不安や悩みなど、ひとり親家庭の方のさまざまな相談にLINEでお応えします。
- 相談日時:火・木・土曜(祝・休日を除く)14~21時
- ☎県子ども家庭課 ☎045(210)4671



医療に関する相談

- 県医療安全相談センターでは、医療に関する不安や疑問などの医療相談に、専門の相談員が電話でお応えします。 ※横浜・川崎・相模原・横須賀・藤沢・茅ヶ崎(寒川町含む)市内の医療機関に関することは各市の相談窓口を案内します。
- 相談電話:☎045(210)4895
 - 相談日時:月~金曜(祝・休日を除く)10~12時、13~15時

女性のための労働相談

- 働く女性が直面する労働問題の相談に、①女性職員が電話や面接(予約不要)で、②③女性弁護士が面接(要予約)でお応えします。
- 相談日時:①金曜(第4金曜を除く)8時30分~12時、13~17時②第3木曜13~16時③第4金曜13~16時 ※いずれも祝・休日を除く
 - 場所:①③マザーズハローワーク横浜内相談室(横浜西区)②マザーズハローワーク相模原内相談室(相模原南区)
 - 定員:②③各3人(1人40分)
 - 相談電話:①☎045(320)0335
 - 面接予約:電話で各実施日の前日までに、②はかながわ労働センター県央支所 ☎046(296)7311③は同センター ☎045(662)6110 へ

📖 読者プレゼント

「県のたより」読者アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で30名の方に、「かながわキンタロウ 指人形」をプレゼントします。

申込み▶☎ かはがきで☎(☎)と「県のたより」3月号について①参考になった記事、②ご意見・感想を明記し、3月1~21日にご応募ください。

H P 応募は電子申請 ☎から▶

はがき 県知事室県のたよりグループ 〒231-8588 所在地省略可

☎県知事室 ☎045(210)3662

※個人情報適切に管理し賞品の発送のみに利用、当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

宝くじは県内で購入しましょう

県内で販売された宝くじの収益金は、子育て支援や学校教育施設の整備など、県内のさまざまな分野に使われ、皆さんの身近な暮らしに役立っています。

▶ 関東・中部・東北自治宝くじ

発売期間	単価	1等賞金×本数
3月6日~3月26日	100円	1000万円×1本 (1等前後賞合わせて1500万円)
3月16日~3月31日 (春一番くじ)	200円	3000万円×1本 (1等前後賞合わせて5000万円)

▶ 全国自治宝くじ

発売期間	単価	1等賞金×本数
3月6日~3月31日 (スクラッチ)	200円	300万円×7本
3月16日~3月31日 (スクラッチ)	300円	1500万円×4本

※発売スケジュールの詳細については☎をご覧ください

☎ 県財政課 ☎045(210)2291

わたしの提案

あなたの声を県政に
お寄せください!

インターネット 神奈川県 わたしの提案 | 検索

手紙 〒231-8588 県情報公開広聴課 広聴グループ 「わたしの提案」と表書きしてください。県の施設や市区町村の窓口に、専用封筒もあります。

FAX 045(210)8833

県の業務などの相談窓口が分からない場合は
県民相談ナビデスク
☎045(321)6865 月~金曜(祝・休日除く)9時~17時15分

☎ 県情報公開広聴課 ☎045(210)3672

かながわコンテンツ 3月のTV&ラジオ

ka na tv	カナフルTV	日曜 18:00~18:30
tvk 3 ch	3日 海から陸から 京浜臨海部の魅力発見!	
テレビ	10日 海上タクシー [知事出演]	
	17日 かながわの花事情	

tvk3ch	[本会議(知事の提案説明と代表質問)]
県議会番組第1回定例会	6日 19:00~20:35
	7日 19:00~20:25
	[予算委員会]
	26日 18:55~21:00
	27日 19:00~20:50
	28日 19:00~20:20

KANAGAWA Muffin	土曜 8:30~8:55
	2日 京浜臨海部の魅力発見!
FMヨコハマ 84.7MHz	9日 「点検商法」にご注意!
	16日 海上タクシー [知事出演]
	23日 かながわのスイートビー
ラジオ	30日 春も旬!「春子」の正体とは

※放送日時、内容は変更する場合があります

※☎で過去の番組を視聴できます

☎ 県議会番組については県政策調査課 ☎045(210)7564
その他の番組については県知事室 ☎045(210)2038

「夕焼け空を映すビーチ」

(写真: 藤沢市・山田 啓之さん)

夏のイメージが強い湘南ですが、オフシーズンにも素晴らしい風景が広がっています。
(令和4年3月撮影)

■場所: 鵠沼海岸(藤沢市)



編集/発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 FAX 045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は2月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

3月28日、新たに海上交通の運航が始まります!

江の島の湘南港に新たに整備するSHONAN江の島棧橋を基点に、逗子や葉山、大磯を結ぶ海上交通の運航が始まります。観光やレジャーはもちろん、移動手段としても渋滞を気にすることなく、海の魅力を体感しながら利用することができます。ぜひご利用ください。

海上タクシー(旅客定員12人以下の小型船舶)



① 湘南港⇄リビエラ逗子マリーナ

片道約20分、1日3往復、片道3,000円

② 湘南港⇄葉山マリーナ

片道約30分、1日3往復、片道3,000円

③ 湘南港⇄大磯港

片道約30分、1日2往復、片道5,000円

大磯港で朝市(大磯市)が開催される日のみ運航

※いずれも乗合で、①②は事前予約制

※その他、貸し切りによる海上タクシーの運航やクルージング・遊覧(中型・大型船舶)も予定しています



SHONAN江の島棧橋オープン記念クルーズ 3月25日(月)~27日(水)

海上タクシーやクルーズ船を一足早く体験

- ・海上タクシー: 25日に1回運航(ランチ付き)
- ・クルーズ船: 25日に1回、26日に3回、27日に2回運航

湘南港ヨットハウスエリアでもイベントを実施

- ・地元団体による演奏などのパフォーマンス
- ・キッチンカーの出店

◎募集人数: 海上タクシー6人、クルーズ船各回100人
(応募多数の場合は抽選)

◎申込期限: 3月15日

◎問合せ: SHONAN江の島棧橋オープン記念クルーズ事務局(株式会社JTB横須賀支店内)

☎046(824)4216

乗船料や申込方法等
詳しくはこちら



湘南港ヨットハウス

乗船料や運航情報等詳しくはこちら



江の島大橋

SHONAN江の島棧橋(発着場所)

【上記記事に関する問合せ】県地域政策課 ☎045(210)3260 FAX 045(210)8837

ともに生きる:

／今月は、NPO法人SHIP 代表の星野 慎二さんに伺いました!／

性の多様性を認め合い、自分らしく生きられる社会づくり

同性愛や性別違和などの性的マイノリティは、20人に1人いると言われています。その多くは思春期に自らのセクシュアリティに気が付きませんが、社会の偏見や差別の中で、親はもちろん先生や友だちにも相談することができず孤立しています。当団体は、LGBTQの人や家族が安心して交流し、相談できる場として、2007年にオープンしました。近年、メディアや学校の授業でLGBTQが取り上げられる機会が増えてきましたが、異性愛のみを前提としたり、男らしさ、女らしさを求める社会規範が今でも根強くあります。「ともに生きる」ために、全ての人々が安心できる場作りと社会の理解を広げていくことの両方が大切です。性的指向や性自認にかかわらず、誰もが自分らしく生きられる社会を目指し、活動を続けていきます。

SHIPについて
詳しくはこちら



NPO法人SHIP 代表
星野慎二さん

憲章については
こちら



ともに生きる社会
かながわ憲章
KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

ともに生きる社会 かながわ憲章 平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

【上記記事に関する問合せ】県共生推進本部室 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854

東日本大震災から13年。いざ!という時に生きのびるために。

【問合せ】県危機管理防災課 ☎045(210)3425

